

塞翁が馬

校長 野口 祐人

「塞翁」(さいおう)とは、「塞」(とりで)と「翁」(老人)のことで、「塞翁が馬」とは、「とりで(砦)に住む老人の馬」という意味です。この言葉には、以下のような中国の故事(昔から伝わっているいわれや物語)があります。

昔、中国の北方の塞(とりで)に占いの得意な老人(翁=塞翁)が住んでいた。

ある日、塞翁が飼っていた馬が逃げてしまったので、人々が慰めに行くところの老人は、「今度のことは福を呼び込んでくるかも知れんよ」と言う。

それから何ヶ月かして、この逃げた馬がなんと立派な馬を何頭か引き連れて戻ってきた。人々がまたやってきて「良かった良かった」と祝福すると老人は、「これは災いをもたらすかも知れんよ」と言う。

すると、ある日、この老人の息子が馬に乗って遊んでいたら馬から落ち足の骨を折ってしまった。人々が見舞いにやってくるとこの老人は、「今度のことは良いことかも知れんよ」と言う。

それから隣国との戦争が起こり、若者達はほとんど戦死したが、この老人の息子は足を骨折していることから徴兵をまぬがれ、命が助かった。

この物語が故事成語「塞翁が馬」になりました。「人の幸不幸は予測ができず、何が禍福(わざわいや幸福)に転ずるかわからない」という意味です。

今、コロナ禍(か)と言われています。人々にコロナによるわざわい(禍)が降りかかっている状況を示す言葉です。まさにその通りで、この状況に苦しんでいる人が多くいらっしゃることは、皆さんもよく承知していることと思います。そして、学校内においても不自由な生活を余儀なくされている状況があります。学校が3ヶ月も休みになったのも今までにないことでした。

でも、「塞翁が馬」かも知れません。しっかりこの状況を乗り越えられれば、「コロナがあったからこそ、〇〇という経験ができた」「普段の生活ではなかったからこそ、気づけたことがあった」などということがあるかも知れません。みなさんも、「家族のありがたみに改めて気づいた」とか、「学校が休みだったから、この本に出会えた」とか、「友人の存在の大きさに気づいた」とか色々感じたことがあったのではないのでしょうか。命さえあれば(亡くなられた方には心よりご冥福をお祈りいたします)、この先、何がプラスになるかわかりません。「人生にマイナスはない」という言葉もあります。様々な状況を、必要以上に悲観することなく、物事をポジティブに前向きに捉えて歩いていきたいものです。「塞翁が馬」という言葉は、2000年以上も語り継がれています。2000年以上もこの言葉がなくなることはないのは、この価値観がいつの時代にあっても人々に受け入れられてきたからなのでしょう。これからの学校生活においても、受験においても、部活動においても、落ち込みすぎず前を向いて進んでいきましょう。前向きな人の前に道はひらかれます。

西中ブログについて

これまで西中ホームページに掲載していた「日々の学校の様子」を「西中ブログ」としてリニューアルいたしました。ぜひご覧ください。



6月22（月）から通常日課になりました

授業の様子



1年



2年



3年



けやきひのき

給食の様子



1年



2年



3年



けやきひのき

7月の予定

月日	曜	行事	部活動
7/1	水	尿1次検査予備日	○
7/2	木	聴力検査 (3-2、1-2、1-4、1-1)	○
7/3	金	聴力検査 (3-1、3-3、3-4)	○
7/4	土		
7/5	日		
7/6	月	1年部活動本入部 部活動保護者会①	○
7/7	火	火曜23456 総務委員会	○
7/8	水	金曜授業 3年東部地区テスト① 内科・結核検診(1-1,2,3) 部活動保護者会②	○
7/9	木	部活動保護者会③	○
7/10	金	水曜授業	○
7/11	土		
7/12	日		
7/13	月	1年、けひ1年心臓検診	×
7/14	火	尿2次検査 県学力学習状況調査	○
7/15	水	木曜授業 内科・結核検診 (1-4,5、2-1)	○
7/16	木	水曜授業	○
7/17	金	第1回学校運営協議会	○
7/18	土	電気点検 (停電10:00~12:00)	
7/19	日		
7/20	月		×
7/21	火		○
7/22	水	内科・結核検診 (2-2,3 3-1)	○
7/23	木	海の日	
7/24	金	スポーツの日	
7/25	土		
7/26	日		
7/27	月		○
7/28	火		○
7/29	水		×
7/30	木		○
7/31	金	給食終了	○

